

平成 27 年度全国学力学習状況調査の分析

平成 27 年 8 月

三島市立中郷西中学校 学習指導部

平均正答率

国語 A (基礎) : 全国平均より高い 県平均より高い

中郷西中学校 > 県 > 全国

国語 B (応用) : 全国平均より高い 県平均とほぼ同じ

中郷西中学校 = 県 > 全国

数学 A (基礎) : 全国平均より高い 県平均より高い

中郷西中学校 > 県 > 全国

数学 B (応用) : 全国平均より高い 県平均より高い

中郷西中学校 > 県 > 全国

理科 (全般) : 全国平均より高い 県平均より高い ※ 3 年毎実施

中郷西中学校 > 県 > 全国

国語 A の 特徴

○ 全体的な傾向

「書く能力」や「言語についての知識・理解・技能（漢字・文法）」は、全国平均より概ね良好である。ただし、言語の面で、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」能力に課題がある。

・ 正答率が高い項目

- 目的に応じて要旨を捉える。（「読む能力」）
- 伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える。（「書く能力」）
- 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。（「書く能力」）
- 文脈に即して漢字を正しく書く。（※設問によっては、正答率の低いものもあった。）
- 文脈に即して漢字を正しく読む。（「言語についての知識・理解・技能」）
- 単語の類別について理解する。（「言語についての知識・理解・技能」）
- 手紙の書き方を理解して書く。（「言語についての知識・理解・技能」）

・ 正答率が低い項目

- 表現の技法について理解する。（「言語についての知識・理解・技能」）
- 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。（「言語についての知識・理解・技能」）

国語 B の 特徴

○ 全体的な傾向

「話す・聞く能力」や「読む能力」は、全国平均より概ね良好である。ただし、「読む能力」でも、「目的に応じて文章を要約する」能力に課題がある。

・ 正答率が高い項目

- 状況に応じて、資料を活用して話す。（「話す・聞く能力」）
- 表現の工夫について自分の考えをもつ。（「読む能力」）

・ 正答率が低い項目

→目的に応じて文章を要約する。「読む能力」)

数学Aの特徴

○全体的な傾向

文字式の計算とその利用に関する問題については全国平均より若干低い問題が多い。一元一次方程式や連立方程式を解く問題はできるが具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくる問題（単純計算ではない問題）できていない。

作図の問題が全体的に全国平均より低い。（1年の後半に学習した内容なので忘れている）1次関数、図形の性質の調べ方、資料の整理に関する問題は、ほとんどすべて全国平均よりできている。

数学Bの特徴

○全体的な傾向

数学的な見方や考え方を問う問題については、ほとんどの問題が全国平均を若干、またはかなり上回っている。

理科の特徴

○全体的な傾向

「知識」に関する問題に関しては、おおむね全国平均より正答率が高い。また、科学的な思考・表現を問われる問題に対し、記述式で答える問題に対して、無解答率が高くなっている。

・ 正答率が高い項目

→知識を活用して、実験方法の良くない点を指摘する問題

→他者の考えを検討し、現象を説明する問題

→知識を短答式で答える問題

・ 正答率が低い項目

→気温の変化に伴って、湿度が変化していくことを思考する問題

→実験結果をまとめた表をもとに、自然現象を一般化する問題

→既存の知識を活用して、現象を説明する問題

→実験をもとに、現象を考察する問題

生活習慣の特徴

○全体的な傾向

・ 全国に比べて、「言語活動・読解力」、「規範意識」についての項目で高い値を示した。

・ 全国に比べて、「学習に対する関心・意欲・態度」、「自尊感情」、「学習習慣」についての項目で低い値を示した。

高い値を示した項目

「言語活動・読解力」について

○質問番号（7）「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・50.5 % (全国 49.6 %)
○質問番号 (39) 「1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が
与えられていたと思いますか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・94.3 % (全国 85.9 %)
「規範意識」について

○質問番号 (33) 「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・97.2 % (全国 94.9 %)

○質問番号 (35) 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・96.3 % (全国 93.7 %)

低い値を示した項目

「学習に対する関心・意欲・態度」について

○質問番号 (48) 「国語の勉強は好きですか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・54.2 % (全国 60.5 %)

○質問番号 (52) 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと
思いますか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・76.6 % (全国 84.2 %)

○質問番号 (54) 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組
み立てを工夫していますか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・43.9 % (全国 54.0 %)

「学習に対する関心・意欲・態度」について

○質問番号 (58) 「数学の勉強は好きですか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・48.6 % (全国 56.0 %)

○質問番号 (65) 「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考え
ますか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・57.0 % (全国 67.5 %)

「自尊感情」

○質問番号 (9) 「将来の夢や目標を持っていますか」

「当てはまる」と「どちらかといえば、当てはまる」の合計・・・62.6 % (全国 71.7 %)

「学習習慣」

○質問番号 (20) 「自分で計画を立てて勉強をしていますか」

「している」と「どちらかといえば、している」の合計・・・33.7 % (全国 48.8 %)

○質問番号 (22) 「家で、学校の授業の予習をしていますか」

「している」と「どちらかといえば、している」の合計・・・29.9 % (全国 35.3 %)

○質問番号 (23) 「学校の授業の復習をしていますか」

「している」と「どちらかといえば、している」の合計・・・43.0 % (全国 52.0 %)

相関関係について

本校の生徒は、全国に比べると教科学力が高い。質問番号 (1) 「朝食を毎日食べていますか」と、質問番号 (3) 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問について、「している」もしくは「どちらかといえば、している」と回答した割合が、全国

と同じかそれ以上である。このことから、基本的な生活習慣が定着している方が学力が高いといえる。

しかし、全国に比べ自尊感情低い生徒の割合が高く、将来自分が何になりたいのか、何のために勉強しなければならないのかということが漠然としている姿がうかがえる。

学習習慣について全国と比較すると、普段の学校の授業時間以外の家庭学習時間は、全国とほぼ同じであるが、土曜日や日曜日などの家庭学習時間は、「4時間以上」または、「3時間以上、4時間より少ない」と回答した生徒は少ない（全国が17.7%に対し本校は8.4%）。予習・復習など家庭学習をあまりしていないことが中西中の課題である。